



学校教育目標 「気づき、考え、実行する子どもの育成」
「進んで学ぶ」 「自分も友達も大切にする」 「元気いっぱい何事にもチャレンジ」

○ 7月の全校朝会でのほなし

先日川副中学校で研修会があったとき、校舎内がとてもきれいだったことに感動したという話をしました。ゴミ一つなく本当にきれいで、思わず校内の生徒にインタビューしてしまいました。その時、「無言で、きれいにしようという思いで精一杯掃除をしている」という答えが返ってきました。いい先輩がこんな近くにいて、とても嬉しく思いました。ということで、「今の中小はどうですか。」と尋ねました。すると“昨年度より少しゴミが落ちている、床が汚れている”と感じている児童がいました。校長と同じ感覚を覚えてくれた児童がいたことに、安心しました。

環境が人を育てると言います。つまり、いつも見ている環境に私たちは影響されていくということが言えます。生活している環境をきれいに整えることが、心や気持ちを整えることにもつながってきます。

「自分たちが生活している中小の環境を気持ちいい・きれいな環境に整えるために、今一度、掃除をがんばってしていきましょう」と呼びかけました。特に、学校のリーダーである5・6年生には、お手本としてがんばってもらいたいことを伝えました。高学年に中小のこれからがかかっています。期待したいところです。

○ 再び中っ子マモルンジャー登場

健康委員会ががんばっています。中川副小学校には、中っ子の健康と安全を守るために健康委員会で作った中っ子マモルンジャーがいます。中っ子に大事なことを知らせるために登場します。今回は、熱中症から中っ子の体を守るためにはどうしたらいいかをマモルンジャーが劇を通して教えてくれました。

今回は、2回目ということで、1回目より練習の成果が出ていたように思います。声も少し大きくなりました。恥ずかしさも少し減っていたようで、堂々とできる部分が増えていました。本当に頑張っているなあと思いました。いろいろな経験を積むことで、自分の幅が広がっていきます。緊張するけれど、達成感を感じることができているように思います。また、徐々に完成度も高まっています。そして何よりも、マモルンジャーのおかげで、中っ子への熱中症予防方法の浸透率が上がったということです。一年生もすぐに答えることができています。中っ子マモルンジャーに感謝です。地域には登場しないのが残念です。

保護者の皆さま、家で練習をしているお子さんもいたと思います。見守っていただきありがとうございます。また出番が来るとしますので、温かく励まし、時には厳しく教えてください。中小は、児童の出番や活躍の場を増やしたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。



学校だよりカラー版は学校ホームページで見ることができます。



○ 水泳記録会の参観ありがとうございました

忙しい中に時間を作り、参観いただき感謝申し上げます。児童も、楽しみながらも最後までしっかり頑張っていました。しかし、ほんとに暑い時間だったですね。3時間目頃は日差しも強く、保護者の皆さんも暑さとの戦いだったと思います。4時間目は雲が出てきましたが、今度は、雷の心配が必要となりプールサイドでひやひやしておりました。何とか終わるまで持ちこたえてくれました。予定通り、水泳記録会を終えられたことに私たちもほっとしました。

各学年、記録会の開会や閉会で役割をもって取り組んでいました。それぞれの良が見られ、成長も感じられました。低学年は、水に慣れることが大切で、少しずつ顔を水につけられるようになっていきます。2年生は、少しずつ泳ぎになっていました。中学年・高学年は自分の状況に合わせて、プールの大きさを選択したり、ビート板を使ったりして、25mを最後までしっかり泳いでいました。全学年を見て、一番気合いが入っていたのは中学年だったように思います。友達が泳いでいる間の応援もありました。

プールの時期になると自分が小学生だったことを思い出します。水泳が得意ではなく、できるだけ避けよう避けてやとしていました。しかし、高学年になると、これじゃいけないと思い、水泳教室(希望者を対象に地区の小学校で実施されていたもの)に申し込み、25m泳げるようになったなあ。中小の皆さんは、小学校の6年間でどこまで泳げるようになれるでしょうか。気持ちと努力が必要ですね。泳げるということは、いざというときに自分の命を守ることに繋がります。プールでの学習は1学期のみですので、限られた時間でしっかり練習してほしいと思っています。



○ 本の読み聞かせや田植えでは地域の皆さんにお世話になっております。

今年は、本の読み聞かせボランティアに3人の方々に来ていただいています。写真の左から、川頭さん、副田さん、高森さんで



す。皆さん、当日に向けて担当学年の児童にはどんな本が適しているだろうかと考えたり、どんな風に読んだら内容が伝わりやすくなるだろうかと考えたりしながら当日を迎えているということでした。学校での10分のために、たくさんの方のことを考えて読み聞かせをしていただいています。とてもありがたいです。児童も、真剣に目と耳を傾けている様子がうかがえました。また、よろしくお願いいたします。

4年生では、田植え体験を実施しています。昨年度から、光吉さんご夫婦に田んぼの一部を貸していただき、JAの方々と一緒に苗の植え付けのご指導をしていただきました。初めて入る、田んぼに足を入れたときの感触になじめず、最初は悲鳴が響いておりましたが、慣れてくると、せっせと次から次に苗を植えていました。カブトエビを教えてもらったときは大喜びでした。感想を読んでもたら、体験を通して農家の皆さんの大変さを知ったことが分かりました。また、田んぼがすぐ近くなので、成長するまでしっかり観察するという思いを持った児童もいました。光吉さん、JAの皆さまのおかげです。暑い中のご指導ありがとうございました。

